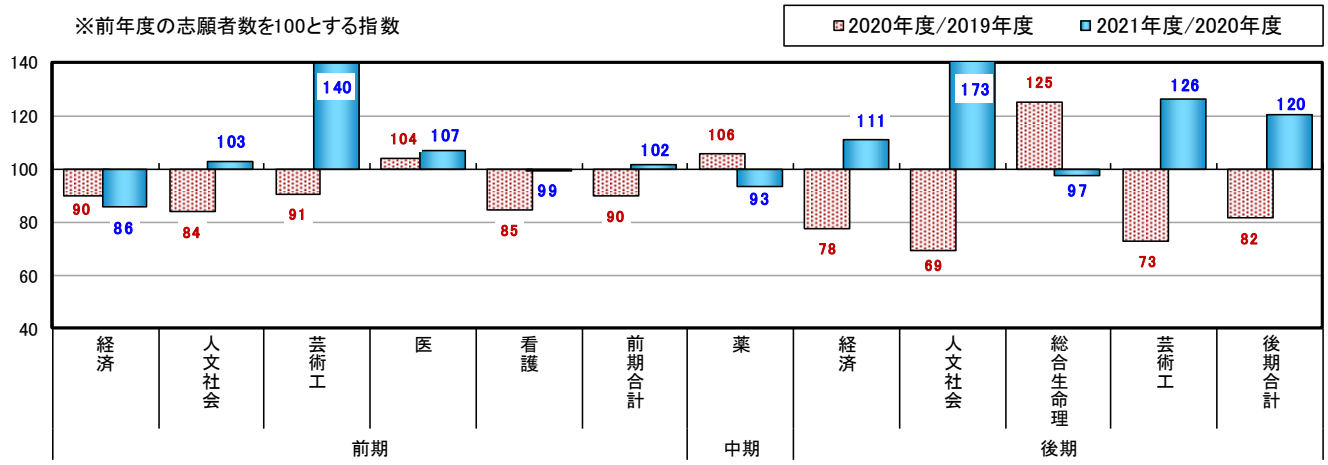
2021 年度入試状況分析【国公立大】

名古屋市立大：中期のみ減少、後期は大幅増加　　前期：+26 人　中期：−76 人　後期：+246 人



入試変更点	募集人員：芸術工(情報環境デザイン) … 〈前〉13 人→16 人、〈後〉13 人→10 人 芸術工(産業イノベーションデザイン) … 〈前〉13 人→16 人、〈後〉13 人→10 人 医(医) … 〈前〉70 人→60 人 個別試験：総合生命理(総合生命理)〈後〉…理の選択方法変更 ※物、化、生から各２問、計６問のうちから４問選択 →物 or 化 or 生から１科目選択 芸術工(情報環境デザイン)〈前〉…数+外+実→数+外+(論 or 実) 医(医)〈前〉…物 or 化 or 生→物+化

COMMENT　※(　　)内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は２年連続減少の反動は小さく 26 人(102)の微増に留まった。薬のみの中期は、前年度３年ぶりにやや増加した反動で 76 人(93)の減少となり再び減少に転じた。学科別では、いずれも反動で(生命薬科学)(89)は減少、(薬)(96)はやや減少。後期は大幅減少の反動から 246 人(120)の大幅増加。

〈前期日程〉

○**経済(86)**は、減少で２年連続減少。志願倍率は 4.0 倍→3.5 倍にダウン。

○**人文社会(103)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(国際文化)(113)は前年度大幅減少の反動で増加、(現代社会)(102)は前年度大幅減少の反動は小さく微増。一方で(心理社会)(97)はやや減少で２年連続減少。

○**芸術工(140)**は、前年度減少の反動で大幅増加。2013 年度より前年度の反動による増減が継続。学科別では(情報環境デザイン)(170)は今年度より、個別試験で実技の他に小論文での受験も可能になった影響もあり激増で、２年連続増加。(産業イノベーションデザイン)(143)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。2015 年度より前年度の反動による増減が継続。(建築デザイン)(124)も前年度やや減少の反動で大幅増加。

○**医(107)**は、募集人員が 10 人減少にもかかわらず、やや増加で２年連続増加。志願倍率は、2.8 倍→3.5 倍にアップ。なお、第１段階選抜の基準は共通テストの総配点 550 点中 400 点以上(概ね 73%以上)にすると１月 20 日に公表された。

○**看護(99)**は、前年度大幅減少の反動はなく前年度並。

〈後期日程〉

○**経済(111)**は、前年度大幅減少の反動で増加。2013 年度より前年度の反動による増減が継続。方式別では、〈Mコース〉(133)が前年度大幅減少の反動で大幅増加、〈Eコース〉(91)は減少で３年連続減少。

○**人文社会(173)**は、２年連続減少の反動で激増。学科別では、３学科とも大幅減少の反動で、(現代社会)(208)は倍増以上、(国際文化)(191)は激増、(心理教育)(135)は大幅増加。

○**総合生命理(97)**は後期のみの募集だが、2018 年度の新設以降２年連続増加したが、その反動は小さくやや減少。

○**芸術工(126)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。(産業イノベーションデザイン)(157)は前年度半減近かった反動で大幅増加、(建築都市デザイン)(143)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(情報環境デザイン)(81)は２年連続大幅減少。